

上田高等学校
関西同窓会報

第54号
2022年(令和4年)
1月17日(月曜日)
編集発行
上田高等学校関西同窓会

2年連続 リモートで第31回総会を開催



第31回総会は、例年通り9月の第一土曜日である9月4日に、オンラインのみで行いました。残念ながら、二年連続オンラインになりました。対面での総会にしたかったのですが、8月にコロナの感染者が急増し、断念せざるを得ませんでした。総会には、来賓として、金子元昭本部理事長、4月に着任なさった北澤潔校長先生、近藤正昭関東同窓会長、中南信支部の武村洋治顧問のご参加をいただき、総勢26名の参加でした(写真は25名)。議事は滞りなく進行し、議題はすべてご賛同を得られたことを報告申し上げます。

総会のご講演はコロナが現下の最大の課題、関心事ですので、昨年に引き続き阪大招へい教授の宮坂先生(64期)にお願いしました。先生には、公私ともに実に御多用中にもかかわらず、ご快諾いただき感謝申し上げます。当日は朝からTV出演があり、本会での講演終了後すぐに九州へのご講演に出かけられるという忙しさでした。ありがとうございました。

金子元昭本部理事長メッセージ

コロナとの共生が続く中、同窓会も会員相互の懇親活動が大幅に制限されてしまい残念です。そんな環境ですが、関西同窓会の総会がリモートで開催され心強く思います。また、上田高校創立120周年記念事業には、関西同窓会の皆様からも多額のご寄付を賜り予定通りに進めることがで

きました。心より厚く御礼申し上げます。

学校からは学習環境が大幅に改善されたとの感謝の言葉を沢山いただきました。また、懸案だった堀の改修もでき、常に水が流れる状態に戻りました。上田駅から上田高校正門前・上田城址公園へのルートは上田市内観光のメインコースです。皆さんもコロナ禍が落ち着いたら、ぜひ、お越しください。

「新型コロナ 本当の『真実』とは？」

大阪大学名誉教授 宮坂昌之氏

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の存在が世界的に知られてから約 2 年が経った。発生当初は自然に収束するという楽観的な見方もあったが、燎原の火のように広がった感染は世界中を覆い尽くし、感染者は 2 億 5 千万人超、死者は約 500 万人に達した。

「ゲームチェンジャー」の登場

しかし、最近になって新型コロナワクチンという「ゲームチェンジャー」が登場してきた。一般的なワクチン開発にはどんなに急いでも数年程度かかるといわれてきたが、驚いたことに開発開始から 1 年ぐらいの間に有望なワクチンが次々に登場してきたのである。

なかでも、米国のファイザー社やモデルナ社が開発した「mRNA ワクチン」は優れた効果を示し、感染予防、発症予防、重症化予防いずれも、有効率が約 90%ときわめて高い。同じ RNA ウイルスであるインフルエンザウイルスに対するワクチンの有効率が 40~60%程度しかないことを考えると、これは驚くべき数字である。

しかし、mRNA ワクチン開発の歴史は実は 10 年以上もあった。日本には到来しなかった感染症 MERS の勃発の頃（2012 年）から開発が続けられていて、実際にエボラ出血熱では mRNA ワクチンが作られて臨床試験が行われていたのである。

また、あまり知られていないことであるが、ドイツのビオンテック社（ファイザーとともに COVID-19 ワクチンの共同開発をしたベンチャー）は、mRNA ワクチンをがんワクチンとして長年開発を続け、本年 6 月には悪性黒色腫に対するがんワクチンの第二相臨床試験を開始している。つまり、mRNA ワクチンの開発の歴史は 10 年以上にも渉るのである。

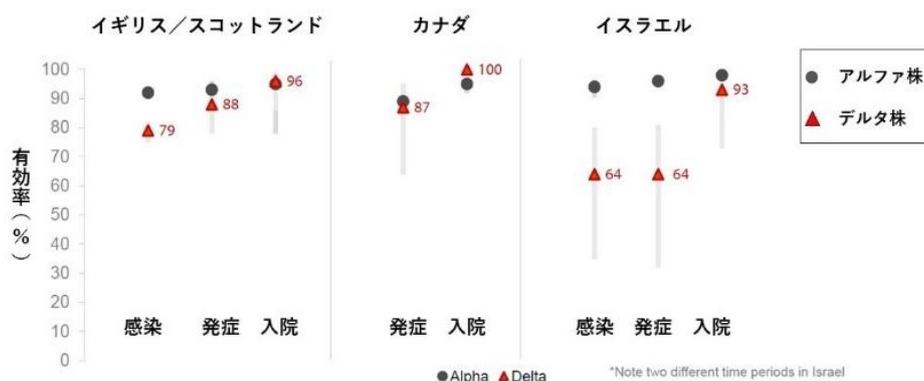
変異株にも高い効果

そして、このワクチンは幸い、変異株に対しても効果があり、デルタ株に対しては感染予防効果が少し下がったが、重症化予防効果は 90%以上と非常に高い。

一方で、ワクチンは健康人を対象に接種することから、極めて高いレベルの安全性が求められる。世界に先がけて大規模接種を始め諸外国のデータがこの間、集まってきたが、幸いなことに、懸念された副反応は深刻なものではなく、mRNA ワクチンがきわめて優れていることがわかった。

このワクチンは、ウイルス RNA の一部が油の膜で包まれ、油成分はリンパ管に入りやすいことから、筋肉注射されたワクチンはリンパ管を介してわれわれの免疫の「砦」であるリンパ節に運ばれ、そこで強い免疫反応を起こし、さらにはメモリーまで残してくれる。これが、mRNA ワクチンがこれまでにない強い効果を示す理由である。

ファイザーワクチン2回接種はアルファ株とデルタ株に高い効果を示す



デルタ株に対する効果は少しは下がっているが、入院に対する抑制率は高い。

アメリカCDCデータ July 29, 2021.

年頭のご挨拶

会長 竹内俊隆 (68 期)



皆様、あけましておめでとうございます。今年こそ、コロナに振り回されることなくすごせる年になってほしいものです。この原稿を書いている 11 月現在では、新規感染者数も重症者数も激減し、非常事態や蔓延防止宣言が撤回されたため、コロナがニュースになる機会は減っています。人流のある程度の回復に伴い、交通機関や飲食、宿泊業の回復具合などに関する記事が増えています。とはいえ、第六次の感染拡大への懸念があり、油断はできません。

特に、日本に先駆けてワクチン接種が進行した西欧諸国では、再度感染が拡大しています。接種が進めば、感染は下火になるはずなのになぜなのでしょう。不思議です。日本でも、同じ現象が起こる可能性は否定できないのでしょうか。ぜひとも知りたいところです。その後にオミクロン株が出現しました。そのせいなのでしょう。困ったものです。

お知らせが一つあります。本年度から「ふるさと会員」を設け、故郷の話題を提供していただくことになりました。かつては本会で積極的に活動し、現在は故郷に帰っている矢島裕章君(106 期)にお願いすることになりました。矢島君よろしくお願ひします。また、会員の皆様方の中で、どなたか適任の方をご存知の方がいらっしゃいましたら、ご紹介願えれば幸いです。ここ二程度はコロナに振り回され続きで、同窓会活動にも影響が出ています。本部や関東その他の同窓会への対面出席などで交流を再開し、より活発な活動ができるようにしたいものです。あわせて、長年の課題であり苦戦している、若手会員の勧誘などに注力していきたいと思っています。会員の皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。

上田高等学校関西同窓会 令和 3 年度 役員名簿

会 長	竹内 俊隆 68 期	副会長	金澤 信男 67 期		
幹事長	隅田修一郎 64 期	副幹事長	佐藤 則一 70 期	堤 宏記 79 期	
会計長	荻原 靖 74 期	副会計長	尾崎 忍 76 期		
監 事	大内 高明 68 期	顧 問	石沢 誠司 60 期		
企画委員会	委員長 尾崎 忍 76 期 (兼)				
	隅田修一郎 64 期	金澤 信男 67 期 (兼)	上記役員全員		
広報委員会	委員長 土屋 俊夫 83 期	石沢 誠司 60 期 (兼)			
文化委員会	委員長 武舎 一夫 73 期	隅田修一郎 64 期 (兼)			
学年幹事	小泉 孝雄 49 期	半田 仁志 50 期	翠川 健彦 51 期	大瀧 忠長 52 期	
	荒井 正自 53 期	清水 克正 54 期	若林 忠之 55 期	大野せき子 56 期	
	中嶋 巖 57 期	白井 彰彦 58 期	伊倉 邦人 59 期	山本 努 60 期	
	黒岩 屹 62 期	丸山 文夫 64 期	恩田 隆 65 期	金澤 信男 67 期	
	知野 武文 68 期	伊藤 秀一 70 期	中村 智子 72 期	武舎 一夫 73 期	
	荻原 靖 74 期	尾崎 忍 76 期	戸田 有一 79 期	土屋 俊夫 83 期	
	近江 裕之 85 期	高橋 路子 88 期			

コロナ禍を乗り越えて

上田高等学校長 北澤 潔

関西同窓会の皆様には、日ごろより本校の教育活動について、ご理解とご支援をいただいておりますことに改めて感謝申し上げます。また、9月4日のオンラインによる関西同窓会総会にお招きいただき誠にありがとうございました。宮坂昌之先生のご講演、大変興味深く聞かせていただきました。

さて、前号で本校の教育活動における新型コロナウイルス感染症による影響等について触れました。続報になりますが、松尾祭は、十分な感染防止策を講じたうえで、企画内容の変更、規模を縮小するなどして実施しました。

2学年の台湾研修旅行については、5月に中止を決定し、代替企画として11月23日に台湾の高級中学3校とオンラインによる交流、24日・25日に大学キャンパス見学とクラス別・班別行動を内容とする金沢への研修旅行を実施しました。

同窓会関係では、10月8日に120周年記念行事として、記念講演会を開催しました。「はやぶさ」のイオンエンジン開発を担当された堀内康男氏(81期)に講師をお願いし、「宇宙と



120周年記念行事 堀内康男氏(81期)によるリモート講演

共に生きる時代」と題してご講演いただきました。オンラインによる開催となりましたが、多くの写真や資料を示していただきながらの講演で、次の50年に向けて、宇宙の可能性をワクワク感をもって感じることができる素晴らしい内容でした。

新型コロナウイルス感染症の影響により、ICTを活用した新たな学びのスタイルが確立したり、関係者との企画・会議

や打合せ等が、オンラインでスムーズに行うことができるようになるなど、対面とオンラインを併用した学びや企画が日常化してきたように思います。相手の表情や息づかいを感じながらの対面でのやり取りに勝るものはないかもしれませんが、しかし、移動時間を必要とせず、通信環境を整えれば海外とでも簡単に繋がることのできる状況が、このように急速に展開していくと、2年前に誰が予測したのでしょうか。

関西同窓会の皆様には、引き続き本校のこれからの姿に注目していただければと思います。今後ともよろしく願いいたします。

令和3年 未来を描くために奮闘した1年

同窓会係 伊藤 浩治先生

コロナ禍も2年目を迎え、感染拡大防止に細心の注意を払いながら、学習活動や生徒会・班活動において、現状を乗り越え、それぞれに自分らしい未来を描くために奮闘した1年となりました。

学習活動では、本年度より、1年生全員がBYODによる、タブレット等端末利用が始まったこともあり、これまでも増して、ICTを活用した授業形態が定着してきました。校外の団体等との交流については、中々対面での実施は難しい面もありましたが、リモートを活用した取り組みにも慣れ、より積極的な活用を進める機運が広まってきています。



探求の日（2年生）

松尾祭が2年ぶりに開催される



松尾祭の開祭式

生徒会活動では、松尾祭が2年ぶりに開催できました。全国的に感染拡大がおさまらない、6月から7月にかけて、生徒会役員を中心に、準備段階から感染拡大防止に重点を置いた対策を全校生徒に周知し、前・後夜祭、アンデパンダン展、合唱コンクールなど、通常実施とは異なる形態とはなりましたが、見事に実施することができました。ひとえに教職員を含めた上田高校生の力の結集の賜物であったと思います。

事前学習をして臨んだ創立120周年記念講演会

さて、10月8日（金）には、昨年より延期されていましたが、長野県上田高等学校創立120周年記念事業校内記念講演会を、コロナの感染状況が一進一退を続ける中、完全リモートで実施いたしました。講師には、本校第81期卒業生で、NEC宇宙利用ビジネス開発部長兼日本地球観測衛星サービス株式会社代表取締役の堀内康男氏をお迎えし、「宇宙と共に生きる時代」と題してご講演をいただきました。講演を視聴する生徒の参加感を少しでも高めるため、生徒実行委員会を組織し、それを中心に、堀内様にご協力をいただいた、事前学習資料を配布したり、講演内容に関する質問を、事前に収集するなど工夫して、講演会に臨みました。当日は、大きな通信障害等トラブルもなく、実行委員を通しての活発な質疑応答も行われ、意義大きい講演会となったと思います。これも、ひとえに本校同窓会の皆様方からいただいた、多大なるご支援の賜物と深く感謝を申し上げます。

今後とも母校の生徒のため、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

母校社会講座(課題研究入門講座)報告

71期 伊藤清志

昨年度は Zoom 開催、今年は 8 月 27 日に計画されながらコロナで延期になっていた社会講座が、10 月 28 日に対面で実施され、講師を担当しましたので報告します。

講師は全国から 12 名で、私が最も遠方からの参加だったようです。元最高裁判事の山浦善樹先輩や、信州プロレスのグレート☆無茶氏等、多彩な講師陣でした。

私は「日本一でなくても世界一になれる」(上田高校で一番でなくても世界で一番の商品群を作れた話)と題して、主にビジネスで経験してきたことを高校生にあてはめる試みをしました。



テーマ 1: 日本一でなくても世界一になれる

◆セイコーエプソン(株)の EPSON の名前の由来。1964 年の東京オリンピック向け開発が契機。

◆1990 年代に担当した、パソコンをレジに活用する PC-POS 黎明期に、変革の激しかった米国市場を最初に狙い、結果として世界一のシェアを獲得した事例から、「活躍すべき土俵の決め方」に関して、高校生版のドメイン(ビジネスでは事業領域)の決め方の事例を説明。

テーマ 2: ルールを言い訳にしない

◆(株)西松屋チェーンで、安全性の高い業界初の構造の抱っこひもを、安全規格「SG マーク」の内容を改訂させて実現した事例をもとに、事実と信念があればルールは変えられることの説明。

No, because (できません、それは〇〇だから)ではなく、Yes, but (できます、それには〇〇が課題です)のマインドの大切さ。

テーマ 3: 星に願いを

◆流れ星が流れている間に願い事をすればかなう。「常に考えている」「常に願いを心に持っている」から。

◆運も実力のうち。「幸運が来た時に準備ができていよう」人が成功する。その準備をするのが今。

テーマ 4: 絵に描いた餅

◆決めた土俵で、流れ星に願うくらい考えた結果は、周りが理解できるアウトプットにする必要がある。

◆絵に描けない餅は実現できないが、絵に描けて、周りの理解と力を集めれば、実現できる。そのための「見える化」が重要。

<講師をした感想>

対象は一年生で、3 月までは中学生だったとは思えないくらい落ち着いており、終了後のアンケートなどからも、思ったより大人だと感心しました。昼食を調理室でいただきましたが、今は男子生徒にも調理実習が必修とのことで、隔世の感でした。たしかに、自炊できることは私の講義よりも大切です。

上田高校関西同窓会令和2年度 活動報告

(令和2年9月1日～令和3年8月31日)

令和2年

9月5日(土) 第30回関西同窓会総会・講演会を開催

(ZOOMによるオンライン会議採用) 参加者25名

講演会「新型コロナウイルスと今後どのように付き合うべきか」

講師：大阪大学名誉教授 免疫学専門家 宮坂昌之氏

8月29日(火) 1年生対象社会講座への協力

ビジネス・都市分野① 荻原 靖氏 (74期) ビジネス・都市分野② 堤 宏記氏 (79期)

11月7日(土) 秋の文化交流会 →下記を企画するも、コロナ感染拡大により中止

『紅葉の名所 二上山山麓の古刹 当麻寺・石光寺を巡る』

上田高校同窓会会員大会と中南信支部総会は中止となり、代表者派遣は無し。

令和3年

1月17日(金) 関西同窓会報第52号発行。

会報を電子化しメールのある会員にPDFファイルを送信した。紙の会報を希望する会員には印刷した会報を送付した。本部および他支部には、PDFファイルを送信した。

2月13日(土) 第1回役員会 (ZOOMによるオンライン会議採用)。出席者10名。

2月27日(土) 第14回文化サロンを開催 参加者：13名。

『漢字をいかに効率よく覚え、そして忘れないか』

講師：石沢誠司氏 (60期) 関西同窓会顧問

6月5日(土) 第2回役員会。出席者11名。(ZOOMによるオンライン開催)

(感染症ご専門の宮坂昌之阪大名誉教授も参加)

7月17日(金) 関西同窓会報第53号発行 (コロナの状況見極めのため発行を遅らせた。)

発行部数は500部 (関西同窓会会員430部、事務局用70部)

本部・関東同窓会・北海道同窓会・各支部へはPDFファイルを送付

8月21日(土) 第3回役員会。出席者10名。(ZOOMによるオンライン開催)

◆30周年記念行事 (実施済)

- 1) 「上田高校関西同窓会30年の歩み」を作成
- 2) 同窓会報のバックナンバーのデータ化と公開

上田高校関西同窓会令和3年度 活動計画

(令和3年9月1日～令和4年8月31日)

- (1) 令和3年9月4日(土) 第31回総会・講演会を開催する。ZOOMによるオンライン会議を採用。26名参加。

講演 「新型コロナ 本当の『真実』とは？」

講師 大阪大学名誉教授 免疫学専門家 宮坂昌之氏

別途、コロナに感染・重症化して回復した会員の体験談あり。

- (2) 広報委員会編集による関西同窓会報を年2回(1月17日、7月17日)発行する。

1月号については、PDFファイル(ワード)を作成し、メールのある会員に送付する。紙の会報を希望する会員には印刷した会報を送付する。(編集会議にて企画)

- (3) 文化委員会主催による文化事業を年2回開催し、会員相互の交流を促進する。

秋の文化交流会 令和3年11月6日(土) 9:45～(実施済)10名参加。

紅葉の名所 二上山山麓の古刹 当麻寺・石光寺を巡る。

第15回文化サロン 令和4年2月5日 午後1時～4時

テーマ 「西洋中世美術史を学ぶ古都めぐりの旅」 会場 ホテルアウイーナ大阪

講師 武舎一夫氏(73期) 関西同窓会文化委員長

(4) 上田高校同窓会本部会員大会をはじめ、関東同窓会総会、中南信支部総会などに代表が出席し、交流を深める。

令和3年の上田高校同窓会会員大会、中南信支部総会は中止

(5) 母校社会講座への協力

◎ビジネス・都市 令和3年10月28日(木) (実施済) 伊藤清志氏(71期)

(6) 30周年記念誌

「上田高校関西同窓会30年の歩み」を印刷予定。

(7) FACEBOOKなどのIT技術により会員交流の場づくりの拡充を行う。

(土屋広報委員長、他)

(8) 上田高等学校の生徒が文化・スポーツなどの分野において、近畿地区で活躍する場合は応援する。

令和3年度 上田高等学校関西同窓会 予算案

期間(令和3年8月26日～令和4年8月25日)

単位:円

収 入		
科 目	3年度予算案	2年度実績
前期繰越金	602,007	589,768
総会費収入	0	0
年会費	150,000	50,400
特別年会費	30,000	25,000
雑収入	100,000	116,000
利息収入	0	2
次期総会参加費前納金	70,000	7,000
次期総会祝金	0	100,000
合 計	952,007	798,170

支 出		
科 目	3年度予算案	2年度実績
総会費用	50,000	0
会 報 費	180,000	147,492
通信費	10,000	12,854
渉外費	100,000	0
事務費	15,000	0
設立30周年記念事業費	100,000	0
雑 費	30,000	18,817
予備費	30,000	0
次期総会繰越分	70,000	10,000
次期総会参加費返金	0	7,000
次期繰越金	367,007	602,007
合 計	952,007	798,170

お悔やみ申し上げます

佐原謙一氏(62期) 令和3年7月8日

7月3日に脳内出血でご自宅で倒れ意識不明のまま帰らぬ人になったと奥様よりお聞きしました。コロナの影響で入院後面会も出来なかったようです。なお密葬により葬儀を行ったそうです。(62期 黒岩屹さん)

佐原さんは2009～2012年の4年間、関西

同窓会の幹事長をされ、会の運営にご尽力いただきました。(編集部)

山岸摩耶さん(準会員) 令和3年4月21日

3月にコロナに感染、あっという間に重症化し亡くなりました。今は上田の父(故山岸善雄氏・53期)のお墓で仲良く眠っております。今までありがとうございました。

(長女の飯島麻里さん)

<秋の文化交流会>

二上山山麓の古刹 当麻寺・石光寺を巡る 67期 松生文子



当麻寺本堂をバックに

俵があり、女性も上がることができるそうです。西隣には当麻蹶速のお墓とされる「けはや塚」がありました。

さらに5分位歩いて当麻寺の仁王門をくぐると、すぐ左手に日本最古の梵鐘（国宝）が目に入りました。当麻寺は612年、聖徳太子の弟・麻呂子親王により創建され、白鳳・天平様式の大伽藍を有する古刹。「当麻曼陀羅」の信仰と曼陀羅にまつわる中将姫伝説で知られています。また、東塔・西塔（国宝）の二基とも創建当時から現存しているのはわが国では当麻寺だけです。

当麻曼陀羅（国宝）に感嘆

境内の案内板の前でガイドをして下さる武舎さんの説明を伺ったあと、まず本堂である曼陀羅堂（国宝）へ。当麻寺の本尊である当麻曼陀羅（国宝）は、西方極楽浄土の壮麗さを表わしていて、綴織（つづれおり）という技法で織り上げられています。縦横4メートル近い大きさがあり、中将姫が蓮の糸を用いて一夜で織り上げたという伝説がありますが、原本は損傷が激しいため公開されていません。現在は室町時代文亀年間（1501～3）に転写された文亀本當麻曼陀羅（重文）が本尊として安置されています。その緻密な描写・技法には感嘆するばかりでした。

次に入った金堂（重文）では、当麻寺最初の本尊である弥勒仏座像（国宝）が安置されていて、見上げるほどの大きさがあり、厳かな雰囲気を感じられました。周囲を守護する四天王立像（重文）は、法隆寺金堂四天王像に次ぐわが国で二番目の古像で、頬から顎にかけて髭をたくわえているのが特徴です。講堂（重文）は、平安時代末に焼失しましたが、鎌倉時代に再建された建物で、本尊阿弥陀如来座像（重文）はじめ平安時代～鎌倉時代の仏像がお祀りされていました。

その後、当麻曼陀羅絵解きを体験するため中之坊へ移動。古くから大和三名園（大和郡山の慈光院・吉野の竹林院）と賞されている庭園「香藕園こうぐうえん」を見学したあと「絵天井の間」として有名な写佛道場にて、150枚の天井画の下で、中之坊の松村實秀長老によ

コロナのために昨年より延期されていた「秋の文化交流会」が、今年は11月6日（土）絶好の行楽日和に恵まれ、無事に実施されました。近鉄南大阪線当麻寺駅に、55期から73期までの10名が9:45に集合、当麻寺目指して出発しました。5分位歩くと、葛城市相撲館「けはや座」の前です。ここは葛城市出身で相撲の開祖と言われる当麻蹶速（たいまのけはや）を顕彰する目的でオープンした相撲の資料館。館内には本場所と同じ大きさの土



西塔を背景に

る絵解きを拝聴しました。長老は84歳とは思えないハリのあるお声で、曼陀羅に描かれた極楽浄土の光景を説いて下さり、また天井画が前田青邨をはじめとする近現代の作家による作品であることを説明して下さいました。奥院にて特別公開中の写本綴織當麻曼陀羅を鑑賞したあとは、釜めし「玉や」にて昼食となりました。一つのテーブルに4人まで、を守って3つのテーブルに分かれて着席、近況を伺うこともできて、心身ともに満腹になりました。

石光寺まで散策

午後は、別名「染寺」と呼ばれている石光寺まで、稲刈りが終わった田んぼののどかな風景を眺めながら歩きました。閉園中だったため、日本最古の石仏を参拝することは出来ませんが、庭園の途中まで入れたので、中将姫がその井戸に蓮糸を浸すと5色に染め上がったと伝わる「染の井」と、染めた糸を枝に掛けて乾かしたという「糸掛桜」を見ることが出来ました。

紅葉の見頃にはちょっと早かったですが、穏やかな秋の一日、良い思い出を残して石光寺にて解散となりました。當麻寺も石光寺も花の寺としても有名ですので、今度は花の季節に訪れてみるのも一案です。最後になりましたが、昨年よりこの文化交流会のためにご尽力下さいました武舎さんに心より感謝とお礼を申し上げます。

.....
<ふるさとの話題>

丸子地域に「椀子(まりこ)ワイナリー」がオープン

106期 矢島 裕章

関西同窓会の皆さま、ご無沙汰しております。106期の矢島裕章です。大阪大学に在学中から関西同窓会でお世話になりましたが、現在は上田市におります。関西方面はもとより、長野県外に出ることもなかなか憚れる昨今ですが、このような時だからこそ、最近は近隣の魅力を再発見する機会になっています。

その上田市、とりわけ私のいる丸子地域に、シャトー・メルシャン



が運営する上田市初のワイナリーである「椀子(まりこ)ワイナリー」が2019年にオープンしました。世界最高のワイナリーを選出する「ワールド・ベスト・ヴィンヤード」というアワードでは、世界のベスト50に2020年、2021年と日本のワイナリーとして唯一選出されるなど、非常に注目を集めているワイナリーです。

さて、この「椀子」という名前。「まりこ」で漢字変換をしても出てこないような独特な読みですが、「丸子」の古名と言われ、6世紀後半に欽明天皇の皇子「椀子皇子」の領地であったことが由来とされています。かつては「丸子町」の読みも「まりこ」「まるこ」と両方認められていたものが、途中で「まるこ」に統一されたとのこと。現在は地名として呼ばれなくなった「まりこ」も、Marikoとして世界で脚光を浴びているのは、地元の間人としてうれしくなります。

一年二組の岡本登君(白土三平さん)

48期 関口貞雄

令和3年(2021)10月27日の毎日新聞で白土三平さん(本名岡本登)の訃報を知った。漫画が主に子供の読み物であった時代に、「カムイ伝」「忍者武芸帳」等で劇画と云う新しいジャンルを開拓し、若者を読者に引き込み、全共闘世代から幅広い支持を得たパイオニアである。

昭和19年、東京から上田中学に編入

昭和19年(1944)4月、旧制上田中学校一年二組に東京からの疎開者が数人編入されて来た。その中の一人が岡本登君であった。都会っ子らしい半ズボン姿、痩せ型の浅黒い顔をしたスマートな少年だった。岡本君の最初の疎開先は中塩田村八木沢で、丸子電鉄別所線で通学した。東京の小学校を出た岡本君は学力では地元学生よりはるかに優れていたが、体育だけは苦手であった。

戦時下の中学校では図画、工作、音楽は軽視され、実技は殆ど行われなかった。芸術の授業を犠牲にして実施された軍事教練は岡本君には辛かったようだ。

軍事教官は白土牛之助大尉

当時の上田中学校に軍事教官として赴任してきたのは白土牛之助大尉で、典型的な古武士型の職業軍人であった。白土教官は全校生徒に「背面行進」と称して背中を地面につけて行進させる荒っぽい軍事教練を考案し強制した。岡本君にはこの行進は大変苦痛だったが、白土大尉の男性的な強さに憧れたようだ。後年に漫画家として売り出す時、ペンネームを「白土大尉に因んで白土三平に変えた」と自身で述べている。

真田町へ一家で転居

東京育ちの岡本君は少年期に立川文庫に親しみ、真田一族や真田十勇士の「大阪の陣」での活躍に心躍らせていた。偶然に机を並べた鈴木君が真田発祥の地に近い長村出身なのを聞き、二年生になった4月、鈴木君に頼

み込み真田町へ一家で転居した。念願であった真田の遺跡を鈴木君の案内で見つかったに違いない。

岡本君一家は終戦後、廃墟の東京に戻った。従って岡本君の上田中学校在学は一年半程であった。

父はプロレタリア画家

彼の父・岡本唐貴氏はプロレタリア画家で、被差別部落の人々、朝鮮半島から来た人々等の虐げられた庶民を題材として描いたので、「赤」として特高警察に目をつけられ、戦時中に拘束されて拷問を受け、脊髄カリエスを患い働けなくなってしまった。

長男として岡本君は一家を支えるために働かねばならず、中学校三年生で中退した。そして父の友人の紹介で紙芝居の模写、彩色の仕事を手伝い絵描き人生がスタートした。

忍者活劇漫画で注目される

やがて漫画家として一本立ちすることになり、紆余曲折を経て、少年時代から温めていたテーマの忍者活劇漫画で注目されるようになり、「甲賀武芸帳」「サスケ」等を発表。さらに被差別部落出身の忍者カムイが支配階級の武士と戦う物語を「カムイ伝」として発表し劇画のパイオニアとなった。

戦中、戦後の混乱期に岡本一家は極限の苦難の道を歩んだ。長男登君は一家を支える重責を担い、努力して成功への糸口を掴んだ。上田へ疎開し、上田中学での軍事教練で白土教官に出会っていなかったら「白土三平」は誕生していなかったのである。

令和3年(2021)11月記。



<文化サロンのご案内>

今回の文化サロンはヨーロッパ美術に造詣の深い関西同窓会文化委員長の武舎一夫氏に「西洋中世美術史を学ぶ古都めぐりの旅」と題してお話いただきます。皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。申込み期限は1月末日です。

西洋中世美術史を学ぶ古都巡りの旅

～ローマ帝国東西ふたつの首都ローマ、コンスタンティノープルを中心に～

313年コンスタンティヌス大帝はミラノ勅令を發布し、キリスト教はローマ帝国公認の宗教となりました。それまで地下に潜んでいたキリスト教徒は公に活動を始め、古代ローマ建築のひとつバシリカ様式による教会建設が盛んになりました。ローマやヴェネツィア南方の古都ラヴェンナでこれら初期キリスト教会堂の建築様式と、内面を飾った美しいモザイクを今日でも確認することができます。西ローマ帝国はその後もなく滅亡しますが、コンスタンティヌス大帝がローマから遷都しました。

コンスタンティノープル（今日のイスタンブール）は、その後もビザンティン帝国の首都として東西貿易で大いに繁栄し、ハギア・ソフィア大聖堂を始めとした歴史的な建築物が建設されました。東洋美術の影響も感じられる独特なビザンティン美術は1453年の帝国滅亡まで続きます。

今回の文化サロンでは、初期キリスト教からルネサンス期に至る美術史を俯瞰しながら、当時ガリアと呼ばれた辺境地域も含め、これら欧州の魅力溢れる古都を散策したいと思います。



サン・ヴィターレ聖堂のモザイク画

日時：令和4年2月5日（土） 午後1時～4時

場所：ホテル・アウイーナ大阪 201号室

〒543-0031 大阪府大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12 TEL. 06-6772-1441

<アクセス> 大阪上本町駅から徒歩3分・地下鉄谷町9丁目駅から徒歩8分

講師：武舎 一夫（関西同窓会文化委員長 73期）

会費：1,000円

申込先：【申込先】 〒635-0013 奈良県大和高田市昭和町 8-11-226 武舎 一夫

email: pretrejean@nifty.com TEL:090-9851-5778 (SMS可)